

すぎなさん



三宅小学校同窓会 会報

第18号 令和5年3月16日発行

三宅小学校全校児童数 77名（男42名 女35名）令和5年3月現在

ご挨拶 三宅小学校同窓会長 田中 治（第59回 昭和43年卒 仮屋区）



同窓会員の皆さまには、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。平素より同窓会活動に深いご理解と暖かいご支援、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

一昨年に同窓会長を拝命してから早や2年が経過しましたが、コロナ禍での就任であったため、各集落の同窓会役員の皆さまと一堂に会する機会がなかったことを心苦しく思っております。

一方、この間、入学式や卒業式、校内体育大会、地域交流会等にご招待頂き、子供達のコロナに負けない元気な姿を拝見し、卒業生の一人として誇らしく思うとともに、感染防止に配慮しながら行事の運営にご尽力頂いた先生方、活動を支えて頂いた保護者及び地域の皆さまに感謝申し上げます。

積雪時の裏山斜面を利用したソリ遊びや、地域の方々と一体となった農業体験学習・昔遊びなどは、ふるさとの良さを知る三宅小学校ならではの活動として、児童の思い出に残るものだと思います。

会長退任にあたり、お世話になりました皆さまにお礼申し上げますとともに、今後とも学校、家庭、地域が一体となって、ふるさとを誇りに思う子供たちの育成にご支援を賜りますようお願い申し上げます、退任のご挨拶とさせていただきます。

校門の石柱と大階段 三宅小学校長 塚本 嘉夫(第67回 昭和51年卒 仮屋区)



同窓会の皆様には、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃は本校の教育活動に多大なるご支援をいただき誠にありがとうございます。おかげさまで、会員の皆様をはじめ多くの地域住民の皆様のご支援によって、子どもたちは日々活気に満ちた学校生活を送ることができています。

さて、校長室には、創立百周年事業のために同窓生や地域の皆様から提供された写真が多く保管されています。創立当時の三宅小の歩み分かる貴重な資料となっていますが、その中の一つに大正2年の三宅尋常高等小学校落成式の写真（右下）があります。周囲の景色が変わっていく中で、現在もほぼ同じ姿をしているのが校門の石柱と大階段です。110年間、子どもたちを見守り続けてく

いると思うと感慨深いものがあります。私の頃は写真と同じ約20段ありました。「チョコレート、…」とじゃんけんをしたりそりすべりをしたり、この階段で遊んだのが楽しい思い出です。現在は歩道が整備され階段は9段となっていますが、今の子どもたちも、たまに「グリコ、…」とやることがありとても嬉しい気持ちになります。これから先、時代が変わっても、このようにほのぼのとした子どもたちの姿が続いていくことを願ってやみません。

会員の皆様には今後ともたいへんお世話になりますが、変わらぬご支援ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



大正2年4月15日 三宅尋常高等小学校 落成式

思い出

第71回（昭和55年卒）山本 康博（仮屋区）

私が三宅小学校を卒業してはや40数年。6年生当時、ポッコリ出たご自分のお腹をポンポン叩きながらニッコリ笑い、「三浦友和に似ると言われるんや」と言いながら鼻を伸ばす様に擦っていた担任の先生がすごく年配に思っていた私が、今やその当時の先生の20歳上の年齢に…、時の過ぎるのは早いものです。

当時、何やら指定校に選ばれたらしく在学中に出来たランチルーム。先の割れたスプーンでのバナナの食べ方や、出された食事をバランスよく食べ、終わった時には、ご飯とおかず、汁物が同時になくなるように食べる食事マナーなど色々と教わり、また、その食事の様子を他校から見学にみえる先生方。懐かしいです。

私には実感はありませんが、単純食は脳の発育に影響があるとの事で、バランスよく食事を摂る事は脳に大切な事なんだとか。今思えば、小学生の時に身に着けられた事は有り難い事です。

またあの当時、学校主体でやっていたソフトボールに少年柔道のスポーツ少年団。嶺北の試合会場までの長い道のり、大会よりもその行き帰りが楽しかったのを覚えています。

当時、土曜日は半ドンで、学校帰りに井ノ口毘沙門公園や三宅の大森神社での、缶蹴りやワ

ンバンノーバン。みんなが投げていたドロップボールが中々投げれず面白くなかった事もありましたが、またそれもいい思い出です。

公園と言えば、「子供の声がうるさい」と言うたった1軒の苦情から、徐々に遊ぶ子供が減り、市民の要望で作られた公園が廃園になるという時代なのでしょうか。私達が子供の頃（昭和時代）には考えられない事が起きています。

以前にも、幼稚園児の声を騒音として問題視した話を耳にした覚えもあります。問題視される音も、大きな不快な音を「騒音」と言い、音量はそれほど大きくなくても聞く人の心理状態や人間関係などの要因で心理的に不快に感じる煩わしい音を「煩音」と言うとか。

長年続く少子化問題。解決するどころか益々深刻化する状況の中、子供達が住みづらい世の中にしてている私達大人達。心理学的には幸福感を与えるとされる子供達の声を「煩音」にしてしまう心の病みをどう解決すればいいんでしょうかね・・・

せめて私達の後輩には元気よく育って、40年と言わず、50年後60年後にも楽しかったと子供の頃の思い出を話せる様になってもらいたいです。

「同窓会に思うこと」

第51回（昭和35年卒）塚本 隆（仮屋区）

私は三宅小学校第51回（昭和35年3月卒業）卒業生で、間もなく卒業後丸63年を迎えます。還暦を迎えた年に献身的な幹事が一念発起し伊勢参り同級会を実施して以来、不定期ながら数年おきに幹事を集落持ち回りで実施し、いよいよ我が仮屋にその「おはち」が回ってきました。

しばらくはあれこれグズグズし、コロナもあり何時実施することも無く時が流れましたが、周辺から「何時するつもりや?」「どうなっている?」など、催促の声が聞こえて来ました。そこで「年貢を納めるか」的発想で町内在住の3名が集まり構想を練る事になりました。

それは、できるだけ割安に、近場で、時間たっぷり、今年度は後期高齢者到達、任務を3人で分担するを基本に、宿泊、町内の宿、補助金有り期間中、年内の早めに実施する事で、少しハードルが高いかなと思いつつ計画実行しました。

結果、参加者は若干少なめながら、補助金の

お陰で予想より安上がり、美味しい若狭の味、ゆったりとした時間、「ちゃん」付けでの会話、校歌をみんなで歌った感激、盛り上がった翌日の女子会、等々好評を頂き無事終了することができました。遠路来てくれた、また泊まるほどでない近場の同級生仲間、そして色々と知恵を絞りみんなをもてなしてくれた仮屋3人組の皆さん本当にありがとう！

次回もみんな元気で再会できるよう頑張ろうぜ51回生！！



三宅小学校第51回卒業生同級会2022年10月28日(金)於三方「岡三屋」

思い出

第68回（昭和52年卒）田中 一（井ノ口区）

三宅小学校を卒業して、あと少しで半世紀が経とうとしています。思い起こせばいろんな思い出があります。

私が小学校に入学した時は、まだ今の体育館はなく、木造の講堂でした。休み時間には、ハンドボール野球で滑り込みなどして、ズボンが破れ、そのたびに親に叱られた記憶が懐かしいです。

また遠足、運動会...、夏には瓜割の滝でキャンプ、冬には学校裏山でスキーやソリ...、楽しかった思い出は多々あります。(勉強については触れたくもないぐらい悲惨でした。)

本当にあの時は行事の度に、まだかまだかと心から楽しみにしていました。時々、あの頃にタイムスリップできたらな、と考えるほどです。

悪ガキであった私は先生にも嫌と言うほど怒られ、よく廊下に立たされ、時には校庭に1日立たされたこともありました。1限目から6限目までの授業の内、半分は立たされていたことなどは日常でした。

今では考えられないことですが、思い出を語るにおいては、笑い話となっています。(先生方



には大変ご迷惑をかけましたが...)

現在少子化が進み、児童数も全学年で80人ほどと聞いております。私たちの子供の頃は高学年だけでもそれ以上でしたが。

しかし、そんな中でも、私たち大人が子供たちに、地域の素晴らしさ、楽しさなどをしっかりと伝えていき、大きくなってこの地を離れたくないと思えるように、今以上に魅力溢れる活気ある町になれるよう、少しでも私の出来ることなら協力していきたいと思います。

最後に、私はこの地で生まれ育って、本当に良かったと感じる今日この頃です。

思い出

第85回（平成6年卒）荒木礼江（松宮）（井ノ口区）

私が三宅小学校を卒業して28年経ちました。昔の小学校はすぐ横に保育園があり、子供達の声がよく聞こえてにぎやかでした。保育園に通っている時は、小学校に通う日が楽しみでワクワクしていました。

小学校では冬場の体育の授業がスキーやそり遊びで、昔は手作りでスキー板やソリを作っていて、今思うと一から作るのはすごいことだったんだと実感します。どれが自分の物か分からない時もありました(笑)

給食はあげパンが人気で、休みの子の分が余っているとジャンケンで勝った子が食べられるので、みんな白熱していました。

私の子供も三宅小学校に通っていて、私も小学校へ行く機会があるので、小さい時は大きく見えていた建物も今では小さく見えて、懐かしい気持ちになります

これからも母校は変わらずあり続けてほしいと願っています。



【第85回卒業生のみなさんの入学式】荒木礼江さん提供

【地域交流会】 2022. 11. 19

学校と保護者・地域とが連携して、子ども達とご家族、地域の方々が、昔遊びや貝殻ろうそく作り、輪投げなどのいろいろな体験を通して交流する会を開催しました。ボランティアさんや公民館にお世話になって栽培した白ネギやもち米の販売を行い、用意した分を完売することができました。また、防災や下水道について学んだり、三宅地区在住のベトナムから来日されている方々とベトナムの人気スポーツであるダーカウを楽しんだりしながら交流を深める様子が見られました。



三宅小学校 同窓会費 決算報告

収入の部

項目	金額 (円)	備考
前年度繰越	9, 584	
会費	114, 340	300円×383人+100円 -手数料110円×6区
入会金	6, 000	500円×12人
貯金利息	0	
計	129, 924	

支出の部

項目	金額 (円)	備考
同窓会会報誌	25, 564	トナー、用紙
備品購入費	85, 371	学習机天板拡張 キーボード・付属品 ラジカセ
謝礼	5, 000	歩道除雪
同窓会事業基金	10, 000	積立
計	125, 935	



【タブレット学習に役立ってます！】

同窓会費で、一人一台のタブレット学習のために机を広く使える「天板拡張くん」20個分を購入させていただきました。

その他、経年による故障のため演奏用キーボード及びCDラジカセをそれぞれ1台購入させていただきました。

なお、例年同窓会員の方にお世話になっていた芝生広場の手入れは学校の作業で行いました。

差引残高

3,989円は、次年度の会計に繰り越させていただきます。
令和5年3月16日

編集後記

ここに皆様の母校への思いがこもった「すぎなさん第18号」が完成いたしました。この発行を通して旧交を温めていただけましたら幸いに存じます。最後になりましたが、今後益々の同窓会員皆様方の御健勝をお祈り申し上げます。

同窓会会報誌は、三宅小学校ホームページでも配信しています。

<http://edu.town.wakasa.fukui.jp/s-miyake/>

令和4年度

三宅小学校同窓会 会報誌編集委員

山本 康博 (仮屋区理事 第71回卒)
竹村 和政 (井ノ口区理事 第76回卒)
河合 博文 (井ノ口区理事 第77回卒)
大峽 歩 (同窓会幹事 仮屋区理事 第70回卒業)

同窓会事務局 住所

〒919-1542
福井県三方上中郡若狭町井ノ口49-11
三宅小学校内
電話 : 0770-62-0005
FAX : 0770-62-0038
電子メール : miyake-es@edu.town.wakasa.fukui.jp